



# ケータイ・インターネット

～子どもへの与え方・接し方～

子どもから「皆ケータイ持っているから私も欲しい」と言われた親は、ケータイを持たせないことでいじめに遭わせてはいけないと思いつつも現実があります。消費生活センターの「子どもと教育」講座（講師財団法人インターネット協会・吉川誠司氏）で、子ども達のコミュニケーションツールとしてケータイやインターネットの効用を認めたい一方で、親が注意するポイントのお話がありました。簡単にご紹介します。

	男子	女子
小学校	22.1%	39.1%
中学校	51.9%	63.8%
高校	95.4%	96.5%

「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査報告書」（平成19年内閣府調査）

## 子どもにケータイを持たせる前に親子で約束事を決める

(トラブルの未然防止)

ケータイの使用時間帯を決めておく 掲示板やプロフィール(プロフ)に個人情報を書かないことを教える ネットで知り合った人と会わないこと、会う時には親に知らせることを徹底しておく 他人の写真を勝手に転載しないことを教える フィルタリングサービス(詳細は後述)を使う、理由についてきちんと理解させておく トラブルに遭遇したら必ず父母に相談することを約束させる

## ネットいじめの兆候(いじめに気づくための

チェックリスト) 保護者向け

「教室の悪魔」山脇由貴子著より一部抜粋

最近、よく物をなくすようになった 学校のノートや教科書を見せたがらない お金の要求が増えた、勝手に持ち出す 親が学校行事に来ることを嫌がる 学校のプリント、連絡帳を出さなくなった ポーっとしていることが増えた 無理に明るく振舞っているように見える 体を見せたがらない、一緒に入浴したくない


## フィルタリングをかけてトラブルの防止をする

携帯電話・PHS事業4社は「有害サイト」のアクセスを制限するフィルタリングサービスに、未成年者は原則加入することになりました。未成年者が新規契約する際に、親権者が不要を申告しない限り、フィルタリングを自動的に設定します。既に契約している人で18歳未満の場合でも親権者が不要を申告しない限り、親権者に周知したうえでフィルタリング設定します。親は子どもにトラブル事例を理解させたうえでフィルタリングをかけることをお勧めします。

小学生向けのフィルタリングは「ホワイトリスト方式」をお勧めします。NTTドコモには、キッズiモードフィルタ、auには接続先限定コース、ソフトバンクにはヤフー/キッズ、ウィルコムにはキッズ携帯パピポ、安心だフォン・ニコなどがあります。いずれも子どもにとって危険なサイトははじかれます。

## 違法・有害サイト対策は?

日々新たなサービスが登場するケータイサイトは、時に予想もしなかった事件やトラブルを引き起こします。子どものほうが習熟して、使い方やマナーを教えられないという親や教師も少なくありません。しかし結局のところ、ケータイは単なる道具に過ぎません。必要なサービスは何なのか、利用者は本来の目的を見失わないで使いこなすことが大切です。



### 「町田市の保健所設置についての基本的な考え方」

## ご意見ありがとうございました

「町田市の保健所設置についての基本的な考え方」策定にあたり、パブリックコメントを実施し、市民の方からのご意見を募集しました。多くの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。結果の概要は以下のとおりです。

いただいたご意見は、「町田市の保健所設置についての基本的な考え方」をまとめるにあたり参考といたします。

町保健所政令市準備課 ☎724・4017

ご意見の募集期間 9月22日～10月21日

応募者数と件数 41人 60件

意見の内訳 「保健所設置の理念」に関するもの3件 / 「保健所設置の意義」に関するもの7件 / 「保健所設置の基本的方向性」に関するもの11件 / 「町田市が行う保健所業務」に関するもの11件 / 「保健所の財政」に関するもの4件 / 「その他(保健所設置に対する期待など)」24件

いただいたご意見の概要と市の考え方をいくつか紹介します。なお、詳細は、町田市ホームページをご覧ください。

また、下記窓口においても詳しい内容を掲載した資料を配布します。

保健所政令市準備課(市役所森野分庁舎4階)、健康課(健康福祉会館1階)、市民相談室(市役所本庁舎1階)、市政情報やまびこ(市役所中町分庁舎1階)、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)、各市民センター、木曾山崎・玉川学園文化の各センター、各市立図書館

ご意見の概要	市の考え方
都から業務をそのまま引き継ぐのではなく、町田市としての展開を目指していくことは、あらゆる分野で希望ある都市づくりになると思う。	健康という視点に立った総合的なまちづくりのコントロールタワーとして、保健所に企画調整部門を設置し、町田市の実情に応じた効率的、効果的な保健衛生行政を推進します。
たらい回しの保健所にならないよう、縦割り行政ではなく、広く横のつながりをもった保健所にして欲しい。	関係機関との連携を強化するとともに、わかりやすい相談窓口体制を作ります。
精神障がいについて、当事者、家族、地域、関係施設への支援や、相談、連携体制の構築をしてもらいたい。	精神保健においては、当事者への支援はもとより、家族への支援や、地域、関係機関との連携が重要であると認識しています。ご意見につきましては、保健所業務を検討する際の参考とさせていただきます。
市民への負担はどの位なのか。	保健所の運営費としては、約5億円が見込まれます。移管に関して必要な経費は、東京都からの支援を要請するとともに、効率的・効果的な保健所運営を目指し歳出の縮減に努めます。

## 経営会議の概要を公表します

市政の重要政策の決定過程である町田市経営会議の概要を公表します。この公表は、市民に信頼される透明性の高い行政運営を進める一環として行うものです。

町田市経営会議は市の経営方針や重要政策等に関する事項の決定・確認を行うために設置しています。詳細は、町田市ホームページでご覧いただけます。また、市政情報やまびこで閲覧できます。

町田市経営改革室 ☎724・2503

## TOKYO交通安全キャンペーン

12月1日～7日

「やわしむが走るこの街この道路」

「TOKYO交通安全キャンペーン」が12月1日から始まります。今年に入り、市内の交通事故は、人身事故・物

損事故とも減少しています。が、怪我をされた方、尊い命を失われた方合わせて2130人(11月7日現在)おり、

死亡事故のうち高齢者の方が絡んだものが、4件発生しています。1件でも交通事故を減少させるために、次の点に注意を払います。

### 【二輪車の交通事故防止】

自分の運転技能や二輪車の性能を過信することなく、坂道やカーブ・交差点の手前では十分に速度を落としましょ

う。車線を守って安全な速度で走り、前方の安全も確かめましょ。二輪車を運転する際は、プロテクターを着用して身体を守りましょ。

### 【高齢者の交通事故防止】

横断禁止場所の横断や、車の直前・直後の横断は大変危険です。近くの横断歩道を渡りましょ。

横断歩道を渡る時は信号を確認し、左右の安全を確かめてから横断しましょ。昼間でも明るく目立つ色の服装を心掛けるとともに、夕暮れ時・夜間は、必ず反射材を身につけて外出しましょ。

### 【飲酒運転の根絶】

飲酒をしたときは、運動能力や判断力が鈍り、車の運転に重大な影響をおよぼします。飲酒運転は、死亡事故や重大事故につながる非常に危険な行為です。このため、飲酒運転等に対する道路交通法の罰則が引き上げられ、特

に、酒類の提供行為や同乗行為の禁止・車両等の提供行為等が重く罰せられますので、

### 【違法駐車対策の推進】

走行する際のヘルメットは、あごひもを結束した正しいかぶりかたをしましょ。

二輪車も含め車で外出する際は、あらかじめ目的の駐車場を確認しましょ。車両通動や会社の車の持ち帰りをやめ、走行車両の抑制に努めるとともに、違法駐車を「しない・させない」ことを徹底しましょ。

### 【高年齢者の交通安全】

自分の運転・運動能力を過信することなく安全運転を心掛けましょ。車に乗車する際は、後部座

席においても、必ずシートベルトをしましょ。

次の5点を絶対に守りましょ。運転するなら酒を飲まない、酒を飲んだら運転しない、酒を飲んだ人の車に乗らない、酒を飲んだ人には運転させない、車のキーを渡さない。運転する人には酒を出さない、すすめない。グループによる飲酒では「運転をして帰る人・ハンドルキーパー」を決めておきましょ。

町田警察署 ☎722・0100、町田市交通安全課 ☎724・1136